

# 学校だより

大津市立葛川小・中学校

平成26年12月号

## 2学期の終わりに寄せて



23日から、冬休みに入りますが、2学期を少し振り返ってみたいと思います。2学期は大変盛りだくさんのことがあった学期でした。運動会、紅葉祭をはじめ、たくさんの思い出ができたことだと思います。私は、葛川保・小・中学校の良さをいくつも発見でき、充実した2学期が締めくくられることに大変喜びを感じています。それらのいくつかを紹介しますと次のようなことでしょうか。

- ・地域の方々がとても学校に協力的で、子どもたちにいろんなことを教えていただいている。
- ・保・小・中の園児・児童・生徒が互いに助け合って学習や行事に取り組み、それを指導する教職員間の連携がともしなやかである。
- ・授業では、仲間の話に耳を傾け、互いの意見を交換しながら考えを深めていける状態ができつつある。
- ・地域の行事に子どもも保護者も積極的に参加し、地域行事を盛りたてている。



今年もあとわずかとなりましたが、それぞれがしっかりと振り返りをし、新しい年の目標に向かって、順風満帆に進むよう祈っています。



## 大規模校体験を終えて

11月17日から3日間、本校の中1生徒が真野中学校へ大規模校体験に行ってきました。子どもたちが葛川中の学校生活とは違う、大きな集団で生活や学習をすることで、社会性を身につけることを目的の一つとしています。わずか3日間の体験ですが、行った生徒にとっては大きな収穫だったようです。その時の様子を次のように書いています。

『1日目は、「どんな人がいるのかなー、こわい人いるのかなー」と思っていると、とても不安でした。だけど、みんな明るくてよかったです。真野中学校は校舎がとてもきれいで、葛川中と全然違ったので驚きました。カメムシは2匹くらいしかいませんでした。校舎は広くて迷子になりそうでした。運動場も広かったです。2日目は慣れて、少しみんなに話やすくなりました。笑顔も多くなったと思います。色んな人の名前も覚えられました。これからは、真野中のみんな



みたいにもっと明るくなりたいなー。』また、保護者からは次のような感想をいただきました。

『体験前には、多分に気後れしており、後ろ向きな発言が多かったように思います。しかし、1日、2日と学習が進む中で、友だちも多くできたようで、最終日には、とても充実した顔で帰ってきました。娘の成長した姿を見て、良い経験をさせていただいたと喜んでおります。』

## 5日間の職場体験を終えて

中学2年生の2名は、11月17日（月）から5日間の職場体験に行ってきました。体験先は、「朽木保育園」と「くつき新本陣」でした。

「働く」ということについて、体験を通して考えるというのがこの職場体験のねらいですが、わずか5日間ではありますが、次のような感想から、生徒なりに収穫があったことがはっきりと感じられます。

『ずっと立って仕事をするのがともしんどく、袋の大きさや入れ方を判断するのが難しかった。3日目からは、やること分かってきて仕事が早く出来るようになり、職場の人たちともしゃべれるようになり、けっこう楽しくなってきた。』



<朽木新本陣にて>

『保育園児たちとは、歌や散歩やカードゲームをして遊びました。みんな、やんちゃな子ばかりで大変でした。すごく疲れました。しかし、日がたつとだんだん慣れてきて、楽しくなってきました。また、行ってみたいと思います。』



<朽木保育園にて>

## 明王院にて 地域清掃

今年2回目の地域清掃を、今月の2日に行いました。小中学生が、学校から明王院まで歩き、明王院に着くと、子どもたちは黙々と熊手や竹ぼうきで落ち葉を集めます。じゅうたんのように重なったモミジの落ち葉を集める作業は、けっこう重労働ではありますが、だんだん落ち葉が減っていき、地面が顔を出すその瞬間に、喜びのようなものを感じつつリズムカルに作業を進める子どもたち。環境整備推進委員の飯島さんのお話や明王院の葛野さんから心温まるお礼が子どもたちの励みとなりました。また、帰りに老人クラグの方々より、つきたてのお餅をお土産にいただきました。ありがとうございました。



